

たんぽぽだより

春日こども園

令和7年度活動報告 NO. 5



＜秋の遠足＞ どんぐりを入れるバッグを作ったり、事前に異年齢のグループの友達とふれあい遊びをしたりすることで遠足に興味をもち、とても楽しみにしていた子どもたち。大きなバスに乗ることも大喜びで、「新幹線が見えたよ!」「もうすぐ着くかな?」と車内はとても盛り上がりしていました。公園に着くと、みんなでどんぐりを拾いに行きました。どんぐりにもいろいろな形や大きさがあることに気付き、保育者に教えたり、友達と見せ合ったりする姿が見られました。ふれあい遊びでは、芝生の上で異年齢の友達と元気いっぱい踊ったり、触れ合ったりしました。最初は緊張していた子も、少しずつ慣れ、笑顔で楽しんでいました。どんぐりを拾ったり芝生の上で遊んだりして秋の自然に興味や関心をもち、触れ合う楽しさを味わうことができました。

＜どんぐり遊び＞ 遠足で拾ったどんぐりを使って、マラカスを作ったりどんぐり転がしをしたりして遊んでいます。どんぐり転がしでは、どんぐりがコロコロ転がることに大喜びで、1つずつ転がしたり、一度にたくさん転がしたりして思い思いに楽しんでいます。どんぐりを転がす人と拾う人など役割に分かれて遊ぶ姿も見られます。これからも身近な自然に触れながら、季節に応じた遊びを楽しめるようにしていきます。



＜交通教室＞ 指導員さんから道路の歩き方や横断歩道の渡り方の話を聞き、実際に横断歩道を渡る練習をしました。運転手さんにしっかり見えるように手を挙げて、「右・左・後・前」と安全確認をしてから渡ることや、運転手さんにお礼を言うことを知り、少し緊張しながらも真剣に取り組む姿が見られました。御家庭でも、お子さんと交通ルールの確認をしながら歩いてみてください。



＜異年齢交流＞ ゆり組さんの保育室に遊びに行きました。緊張したり恥ずかしがったりする子もいましたが、お兄さん・お姉さんが優しく声を掛けて遊びに誘ってくれることで安心し、笑顔がたくさん見られました。どんぐり転がしや魚釣りなど、ゆり組さんが作った物でたくさん遊ばせてもらい、保育室に戻ると「楽しかった」「ゆり組さん優しくったね」と優しくしてもらったことを思い出していました。異年齢でのかかわりを通して年長児に憧れをもったり、「自分もやってみたい」という意欲を高めたりできる機会にしています。



＜10月誕生会＞ シルエットクイズをしました。ハロウィンにちなんだ猫や魔女、キャンディなどの絵のシルエットを見て、それが何かを当てました。「あれはキャンディだよ」「しっぽが長いから猫さんじゃない?」などと、自分なりに考えたり、友達と話し合ったりする姿が見られました。正解すると大喜びで、「やったー!」と盛り上がりしている子どもたちでした。